

# 工 事 設 計 書

所 属 部 課 名	街づくり課								
部長	課長	補佐	主査	主査	担当	担当	担当	設計者	設計審査
工事名称	松戸駅西口駅前広場改修工事								
工事場所	松戸市本町24番地先								
事業年度	令和 8 年度								
工事価格	円								
工事費計	円								

設 計 説 明	土工・・・一式 舗装工・・・一式 区画線工・・・一式 附帯工・・・一式 仮設工・・・一式
------------------	--

## 本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
		土工		式	1			第 1 号内訳書参照
		舗装工		式	1			第 2 号内訳書参照
		区画線工		式	1			第 3 号内訳書参照
		附帯工		式	1			第 4 号内訳書参照
		仮設工		式	1			第 5 号内訳書参照
	直接工事費計			式	1			
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計		式	1			
	純工事費			式	1			
		現場管理費		式	1			

# 本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	工事原価			式	1			
		一般管理費等		式	1			
		スクラップ		式	1			第 6 号内訳書参照
	工事価格			式	1			
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計				式	1			

第 1 号内訳書 土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	As t=15cm	m	30			第 1 号単価表参照
舗装版切断	Co t=6cm	m	25			第 2 号単価表参照
舗装版切断排水処分工		m <sup>3</sup>	0.1			第 3 号単価表参照
舗装版破碎		m <sup>2</sup>	14			第 4 号単価表参照
As廃材運搬処分工		m <sup>3</sup>	2.1			第 5 号単価表参照
歩車道境界ブロック撤去		m	27			第 6 号単価表参照
歩車道境界ブロック設置		m	25			第 7 号単価表参照
特殊ブロック舗装撤去	撤去のみ 誘導ブロック	m <sup>2</sup>	1.8			第 8 号単価表参照
特殊ブロック舗装再設置	再利用 誘導ブロック	m <sup>2</sup>	0.2			第 9 号単価表参照
インターロッキングブロック撤去	撤去のみ	m <sup>2</sup>	29			第 10 号単価表参照
インターロッキングブロック撤去・再設置	再利用	m <sup>2</sup>	1			第 11 号単価表参照

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋Co運搬処分工		m3	1.8			第 12 号単価表参照
床掘り		m3	19			第 13 号単価表参照
建設発生土運搬処分工		m3	15			第 14 号単価表参照
路盤廢材運搬処分工		m3	4.3			第 15 号単価表参照
計						

第 2 号内訳書 舗装工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
車道部舗装		式	1			第 16 号単価表参照
歩道部舗装		式	1			第 17 号単価表参照
計						

第 3 号内訳書 区画線工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線消去		m	79			第 18 号単価表参照
区画線設置	実線W=0.15	m	90			第 19 号単価表参照
区画線設置	文字15cm換算	m	41			第 20 号単価表参照
計						

第 4 号内訳書 附帯工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵（横断・転落防止柵）撤去工		m	10			第 21 号単価表参照
防護柵（横断・転落防止柵）設置工		m	13.6			第 22 号単価表参照
標識柱・基礎設置（路側式）		基	5			第 23 号単価表参照
標識板設置	指示標識板N=1 補助標識板N=3	基	4			第 24 号単価表参照
標識板設置	規制標識板N=1	基	1			第 25 号単価表参照
構造物とりこわし	タクシー上屋N=2 看板撤去、配線処理含む	式	1			第 26 号単価表参照
混合廃棄物運搬処分		m <sup>3</sup>	1.7			第 27 号単価表参照
計						

第 5 号内訳書 仮設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人日	30			第 28 号単価表参照
計						

第 6 号 内訳書 スクラップ

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクラップ	ヘビーH2	t	0.5			
計						

第 1 号 単価表

舗装版切断

As t=15cm

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 1 号 単価表

舗装版切断

As t=15cm

1 m 当り

2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1  
J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版  
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1

15cm以下

第 2 号 単価表

舗装版切断

Co t=6cm

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 2 号 単価表

舗装版切断

Co t=6cm

1 m 当り

2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 2  
J05 費用の内訳 = 1

コンクリート舗装版  
全ての費用

J03 コンクリート舗装版厚 = 1

15cm以下

第 3 号 単価表

舗装版切断排水処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬		m3	1			第 29 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1,130			
計	1 m3 当り					

第 4 号 単価表

舗装版破碎

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクュ型]	吐出力 3.5 ~ 3.7 m <sup>3</sup> / min	%	K1			
さく岩機 (コンクリートブレーカ)	20kg級	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB430310

- J01 舗装版種別 = 1
- J04 舗装版厚 = 7
- J07 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版  
10cmを超え15cm以下  
全ての費用

- J02 障害等の有無 = 2
- J06 積込作業の有無 = 1

有り  
有り

第 5 号 単価表

As廃材運搬処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 30 号単価表参照
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m3 当り					

第 6 号 単価表

歩車道境界ブロック撤去

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） [超小旋回型]	山積0.22m <sup>3</sup> （平積0.16m <sup>3</sup> ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m 当り					

SCB422540

J01 再利用区分 = 1

処分

第 7 号 単価表

歩車道境界ブロック設置

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0.8m <sup>3</sup> （平積0.6m <sup>3</sup> ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
型わく工		%	R4			
材料構成比		%	Z			
歩車道境界ブロック	片面 150/170×200×600 (A)	%	Z1			
生コンクリート	18-8-25 (20) 高炉 W/C60%以下	%	Z2			

第 7 号 単価表

歩車道境界ブロック設置

1 m 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m 当り					

SCB422510

J01 作業区分 = 1  
 J04 基礎碎石規格 = 2  
 J06 養生工の有無 = 2

設置  
 再生クラッシャーラン RC-40  
 有り

J02 ブロック規格 = 1  
 J05 均し基礎コンクリート規格 = 3

A種 (150/170×200×600)  
 18-8-25 (高炉)

第 8 号 単価表

特殊ブロック舗装撤去

撤去のみ  
誘導ブロック

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
ブロック工		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
特殊作業員		%	R4			
	1 m2 当り					

SCB422530

J01 作業区分 = 2

撤去

第 9 号 単価表

特殊ブロック舗装再設置

再利用  
誘導ブロック

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
ブロック工		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
特殊作業員		%	R4			
	1 m2 当り					

SCB422530

J01 作業区分 = 3

再利用設置

第 10 号 単価表

インターロッキングブロック撤去

撤去のみ

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
インターロッキングブロック 撤去工	とりこわし R7月単位現場閉所	m2	100			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB810420

J01 作業区分 = 2 撤去のみ  
 J06 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無

J05 施工規模による加算 = 2 100m2未満  
 J07 夜間作業補正 = 1 無

第 11 号 単価表

インターロッキングブロック撤去・再設置 再利用

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
インターロッキングブロック 撤去工	再使用 R7月単位現場閉所	m2	100			
インターロッキングブロック 設置工 一般部	T=6cm 標準品 直線配置 R7月単位現場閉所	m2	100			
インターロッキングブロック	ブロック厚6cm 標準品	m2	100			
インターロッキングブロック	ブロック厚6cm 標準品	m2	2			
砂	クッション用	m3	3.87			100*(30/1000)*(1+0.29)
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB810420

J01 作業区分 = 1  
 J03 敷材料の種類 = 4  
 J05 施工規模による加算 = 2  
 J07 夜間作業補正 = 1

撤去及び再設置  
 砂 (クッション用)  
 100m2未満  
 無

J02 再設置作業区分 = 1 直線配置 ブロック厚 6cm  
 J04 敷材料の厚さ (実数入力) [mm] = 30  
 J06 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無

第 12 号 単価表

無筋Co運搬処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 31 号単価表参照
無筋C o 処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m3 当り					

第 13 号 単価表

床掘り

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1  
J05 費用の内訳 = 1

土砂  
全ての費用

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 14 号 単価表

建設発生土運搬処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬		m3	1			第 32 号単価表参照
建設発生土処分費		m3	1.2			
計	1 m3 当り					

第 15 号 単価表

路盤廃材運搬処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	路盤材	m3	1			第 33 号単価表参照
路盤廃材処分費	東葛飾	t	2.04			
計	1 m3 当り					

第 16 号 単価表

車道部舗装

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正	(路床又は路盤の補足材敷均転圧)	m2	44			第 34 号単価表参照
下層路盤 (車道・路肩部)		m2	33			第 35 号単価表参照
上層路盤 (車道・路肩部)		m2	33			第 36 号単価表参照
基層 (車道・路肩部)		m2	44			第 37 号単価表参照
中間層 (車道・路肩部)		m2	44			第 38 号単価表参照
表層 (車道・路肩部)		m2	44			第 39 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 17 号 単価表

歩道部舗装

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤 (歩道部)		m2	1.6			第 40 号単価表参照
表層 (歩道部)		m2	1.6			第 41 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 18 号 単価表

区画線消去

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線消去 昼間	豪雪無 削取り式 制約受ける R7月単位現場閉所	m	1,000			
軽油		L	62			
ガソリン	レギュラー	L	35			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821220

J01 夜間作業の有無 = 1  
 J03 豪雪補正の有無 = 1  
 J06 費用の内訳 = 1

無し  
 無し  
 全ての費用

J02 施工方法区分 = 1  
 J05 時間的制約の有無 = 2

削取り式  
 有り

第 19 号 単価表

区画線設置

実線W=0.15

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間	豪雪無 実線15cm 制約受ける R7月単位現場閉所	m	1,000			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	570			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	25			
接着用プライマー	区画線用	kg	25			
軽油		L	40			
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1	無し	J02 施工方法区分 = 1	溶融式手動
J03 豪雪補正の有無 = 1	無し	J04 規格・仕様区分 = 1	実線 15cm
J05 時間的制約の有無 = 2	有り	J06 塗布厚 = 1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し		J08 未供用区間の場合の補正 = 1	無し
J09 溶融式塗料規格 = 1	含有量15~18%	J11 塗料区分 = 1	白
J12 プライマー規格 = 1	アスファルト舗装	J13 費用の内訳 = 1	全ての費用

第 20 号 単価表

区画線設置

文字15cm換算

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間	豪雪無 矢印・記号・文字 制約受 R7月単位現場閉所	m	1,200			1000*1.2
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	684			570*1.2
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	30			25*1.2
接着用プライマー	区画線用	kg	30			25*1.2
軽油		L	120			100*1.2
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し  
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し  
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り  
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し  
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%  
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1  
 J04 規格・仕様区分 = 13  
 J06 塗布厚 = 1  
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1  
 J11 塗料区分 = 1  
 J13 費用の内訳 = 1

溶融式手動  
 矢印・記号・文字 15cm換算  
 1.5mm  
 無し  
 白  
 全ての費用

第 21 号 単価表

防護柵（横断・転落防止柵）撤去工

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵撤去工ブロック建込用	門型 R7月単位現場閉所	m	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SWB810770

- J01 施工区分 = 2
- J03 支柱間隔 = 1
- J05 夜間作業の補正 = 1

プレキャストコンクリートブロック建込  
1m  
無

- J02 防護柵種類 = 2 門型
- J04 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 有

第 22 号 単価表

防護柵（横断・転落防止柵）設置工

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工ブロック建込用	ビーム式・パネル式 R7月単位現場閉所	m	100			
防護柵（P種）		m	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SWB810760  
 J01 施工区分 = 2  
 J03 支柱間隔 = 3  
 J07 夜間作業の補正 = 1  
 プレキャストコンクリートブロック建込  
 2m  
 無  
 J02 防護柵種類 = 1  
 J05 施工規模による加算 = 4  
 ビーム式・パネル式  
 100m未満

第 23 号 単価表

標識柱・基礎設置（路側式）

1 基 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
標識柱・基礎設置（路側式）	単柱式 メッキ+塗装 φ60.5 R7月単位現場閉所	基	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 基 当り					

SWB812110

J01 柱の規格 = 1 単柱式（基礎含む）φ60.5  
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 有  
 J05 曲げ支柱加算 = 1 無  
 J07 塗装仕様 = 2 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装（白色）

J02 施工規模加算 = 1 5基以上  
 J04 夜間作業の補正 = 1 無  
 J06 柱の材料費の計上 = 1 有

第 24 号 単価表

標識板設置

指示標識板N=1 補助標識板N=3

1 基 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
道路標識板	既製品 指示標識	基	1			
道路標識板	既製品 補助標識	基	3			
標識板設置（警戒規制指示路線番号）	設置手間 R7月単位現場閉所	基	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 基 当り					

SWB812150

J01 標識板材料費の計上の有無 = 1 有  
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無

J02 施工規模加算 = 2  
 J04 夜間作業の補正 = 1

3~4基  
 無

第 25 号 単価表

標識板設置

規制標識板N=1

1 基 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
道路標識板	既製品 規制標識	基	1			
標識板設置（警戒規制指示路線番号）	設置手間 R7月単位現場閉所	基	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 基 当り					

SWB812150

J01 標識板材料費の計上の有無 = 1 有  
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無

J02 施工規模加算 = 3  
J04 夜間作業の補正 = 1

2基以下  
無

第 26 号 単価表

構造物とりこわし

タクシー上屋N=2  
看板撤去、配線処理含む

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
運転手（特殊）		人				
軽作業員		人				
小型バックホウ	クローラ型 山積0.13m3（平積0.1）	日				第 42 号単価表参照
トラッククレーン	4t積2.9t吊	日				第 43 号単価表参照
発動発電機	5KAV ディーゼル駆動	日				第 44 号単価表参照
グラインダー		日				
電工		人				
諸雑費		式	1			
計	1 式 当り					

第 27 号 単価表

混合廃棄物運搬処分

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 45 号単価表参照
混合廃棄物処分費		m3	1			
計	1 m3 当り					

第 28 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 29 号 単価表

土砂等運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり  
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)  
 J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7  
 J04 DID区間の有無 = 2

人力  
 有り

第 30 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010  
 J01 殻発生作業 = 3                      舗装版破碎  
 J03 DID区間の有無 = 2                  有り  
 J13 費用の内訳 = 1                      全ての費用  
 J02 積込工法区分 = 4                      機械積込 (小規模土工)  
 J10 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 15.0km以下



第 32 号 単価表

土砂等運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模  
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)  
 J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 27.0km以下

J02 積込機種・規格 = 5  
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)  
 有り

第 33 号 単価表

土砂等運搬

路盤材

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模  
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)  
 J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 17.0km以下

J02 積込機種・規格 = 5  
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)  
 有り

第 34 号 単価表

不陸整正

(路床又は路盤の補足材敷均転圧)

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
小型バックホウ運転		日				第 46 号単価表参照
タイヤローラ運転		日				第 47 号単価表参照
振動ローラ運転		日				第 48 号単価表参照
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB430630

J01 総施工量 = 1

1000m2未満

J02 打換え区分 = 1

全層打換え

J03 すりつけ作業の有無 = 1

有

第 35 号 単価表

下層路盤（車道・路肩部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)フレッド幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 35 号 単価表

下層路盤 (車道・路肩部)

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410030

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 190

J03 材料 = 6

再生クラッシャーラン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工  
全ての費用

第 36 号 単価表

上層路盤（車道・路肩部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)フレッド幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 36 号 単価表

上層路盤 (車道・路肩部)

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生粒度調整碎石	RM-30	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410040

J01 材料 = 7  
J07 施工区分 = 2

再生粒度調整碎石 RM-30  
2層施工

J06 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 180  
J09 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 37 号 単価表

基層（車道・路肩部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 1.4～3.0m	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンパインド式]	運転質量 3～4 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 3～4 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 37 号 単価表

基層（車道・路肩部）

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン（20）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410240

J01 平均幅員 = 3  
 J05 材料 = 12  
 J07 費用の内訳 = 1

1.4m以上3.0m以下  
 再生粗粒度アスコン（20）  
 全ての費用

J04 1層当平均仕上厚 70mm以下[mm] = 50  
 J06 瀝青材料種類 = 2 プライムコート PK-3

第 38 号 単価表

中間層（車道・路肩部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 1.4～3.0m	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンパインド式]	運転質量 3～4 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 3～4 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 38 号 単価表

中間層 (車道・路肩部)

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン (20)	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410250

J01 平均幅員 = 3  
 J05 材料 = 12  
 J07 費用の内訳 = 1

1.4m以上3.0m以下  
 再生粗粒度アスコン (20)  
 全ての費用

J04 1層当平均仕上厚 70mm以下[mm] = 50  
 J06 瀝青材料種類 = 1 タックコート PK-4

第 39 号 単価表

表層（車道・路肩部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 1.4～3.0m	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンパインド式]	運転質量 3～4 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 3～4 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 39 号 単価表

表層 (車道・路肩部)

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
アスファルト混合物	再生密粒改質Ⅱ型 (20)	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 3  
 J05 材料 = 35  
 J07 費用の内訳 = 1

1.4m以上3.0m以下  
 各種 (2.30以上2.40t/m3未満)  
 全ての費用

J04 1層当平均仕上厚 70mm以下 [mm] = 50  
 J06 瀝青材料種類 = 1 タックコート PK-4

第 40 号 単価表

下層路盤 (歩道部)

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ(舗装用)[搭乘・コンパインド式]	運転質量3~4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手(特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			

第 40 号 単価表

下層路盤 (歩道部)

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 150

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工  
全ての費用

第 41 号 単価表

表層 (歩道部)

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	運転質量0.5~0.6t	%	K1			
振動コンパクタ [前進型]	機械質量40~60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (13)	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 41 号 単価表

表層 (歩道部)

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410261

J01 平均幅員 = 1  
 J05 材料 = 11  
 J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満 (仕上厚50mm以下)  
 再生密粒度アスコン (1 3)  
 全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 40  
 J06 瀝青材料種類 = 5 無し

第 42 号 単価表

小型バックホウ

クローラ型 山積0.13m<sup>3</sup> (平積0.1)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
小型バックホウ (クローラ) [標準]	排出ガス対策型 (第2次基準) 山積0.13m <sup>3</sup>	日				
軽油		L	21.6			
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 43 号 単価表

トラッククレーン

4t積2.9t吊

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
トラック [クレーン装置付]	ベ-トラック4~4.5t積 吊能力2.9t	時間				
軽油		L	31.8			
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 44 号 単価表

発動発電機

5KAV ディーゼル駆動

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	4.5 / 5 kVA	日				
軽油		L	4.2			
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					



第 46 号 単価表

小型バックホウ運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	9			
小型バックホウ(クローラ) [標準・超低騒音型]	排出ガス対策型(第3次基準)山積0.09~0.11m3	供用日	1.38			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430540

J01 打換え区分 = 1

全層打換え

第 47 号 単価表

タイヤローラ運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	32			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 8 ~ 20 t	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430150

J01 打換え区分 = 1

全層打換え

第 48 号 単価表

振動ローラ運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	17			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式]	運転質量 3 ~ 4 t	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計						1 日 当り

SWK430550

J01 打換え区分 = 1

全層打換え

## 設計基本情報

- 単価世代 2026年6月1日【東葛飾】
- 諸経費工種 道路改良工事
- 施工地域補正 共通仮設費:市街地(DID補正)(1)-3 現場管理費:市街地(DID補正)(1)-3
- 週休2日補正 月単位<現場閉所>
- 時間的制約状況 時間的制約を受ける。※ただし、交通誘導警備員については補正なし。

数量総括表 松戸駅西口駅前広場改修工事

工種	種別	細別	単位	数量	
土工	舗装版切断	As t=15cm	m	30	
	舗装版切断	Co t=6cm	m	25	
	舗装版切断排水処分		m3	0.1	
	舗装版破碎		m2	14	
	As廃材運搬処分		m3	2.1	
	歩車道境界ブロック撤去		m	27	
	歩車道境界ブロック設置		m	25	
	特殊ブロック舗装撤去	誘導ブロック 撤去のみ	m2	1.8	
	特殊ブロック舗装再設置	誘導ブロック 再利用	m2	0.2	
	インターロッキングブロック撤去	撤去のみ	m2	29	
	インターロッキングブロック撤去再設置	再利用	m2	1	
	無筋Co運搬処分		m3	1.8	
	床掘り		m3	19	
	建設発生土運搬処分		m3	15	
	路盤廃材運搬処分		m3	4.3	
	舗装工	車道部舗装			
		不陸整正		m2	44
		下層路盤	RC-40 t=19cm	m2	33
上層路盤		RM-30 t=18cm	m2	33	
基層		再生粗粒度As (20) t=5cm PK-3	m2	44	
中間層		再生粗粒度As (20) t=5cm PK-4	m2	44	
表層		改質II型再生密粒度As(20) t=5cm PK-4	m2	44	
歩道舗装					
下層路盤		RC-40 t=15cm	m2	1.6	
表層	再生密粒度As (13) t=4cm	m2	1.6		
区画線工	区画線消去	削取り式 w=15cm換算	m	79	
	区画線設置	実線 白 w=15cm 熔融式	m	90	
	区画線設置	文字 白 w=15cm換算 熔融式	m	41	
附帯工	防護柵撤去	横断防止柵	m	10	
	防護柵設置	横断防止柵	m	13.6	
	標識柱・基礎設置		基	5	
	標識板設置	指示標識板 N=1・補助標識板 N=3	基	4	
	標識板設置	規制標識板 N=1	基	1	
	構造物とりこわし	タクシー上屋 N=2 他	式	1	
	混合廃棄物運搬処分		m3	1.7	
仮設工	交通誘導警備員B		人	30	
				以上	

# 契約条件明示及び特記仕様書

## 松戸駅西口駅前広場改修工事

### 一般事項

#### 1-1 適用

本仕様書は、松戸市が発注する「松戸駅西口駅前広場改修工事」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書に定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

#### 1-2 目的

本工事の目的は、より良い市民生活を目指す松戸駅周辺施設等整備事業に基づき、その計画を遂行する為に必要な施設を構築することである。請負者は、その主旨をよく理解した上で施工にあたらなければならない。

#### 1-3 作業時間

昼間の作業時間は、8:30～17:00とする。

但し、道路上の作業時間は、所轄警察署の道路使用許可証に従うこと。

#### 1-4 週休2日制適用工事

1. 本工事は、週休2日制適用工事である。
2. 受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休2日（4週8休以上）達成相当の経費を補正している。
3. 受注者が、工事着手前に完全週休2日（土日）の取組を希望し、かつ対象期間内において完全週休2日（土日）相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。
4. 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休2日制適用工事实施要領」に基づき行うこと。

#### 1-5 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事

1. 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。
2. 受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。
3. 工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

#### 1-6 工事着手前の確認

1. 請負者は、工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかを十分に確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。
2. 請負者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。なお、交渉や要望を受けた場合には、記録し監督職員に報告すること。
3. 既設の埋設物については、施工者においても十分調査し、要所においては必要により試験掘りを行い、企業者の立ち会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。
4. 本工事に伴う家屋事前調査については実施していないため、請負者においては必要に応じて、万が一の影響を考慮し工作物等の状況を原則所有者立ち会いまたは了解を得て写真により記録し、施工計画書と共に監督職員に提出するものとする。工事用地、資材及び重機置場として借地した土地の近接家屋についても同様とする。
5. 請負者は、着手前に、工事の施工にあたり、損傷を受けるおそれのある基準点や境界杭を測量し、計測結果を記録しなければならない。また、施工にあたり、障害となる境界杭の復元を含めて、適切な措置を講じるものとする。

#### 1-7 その他

1. 提出書類の作成方法については、最新の千葉県土木工事書類作成マニュアルに準じるものとし、工種に応じた適切な規格、数量等が証明できる資料も作成すること。
2. 施工管理に関しては、十分に工程を管理し定期的にフィードバックするとともに、進捗状況については毎月1回（月末）監督職員に提出しなければならない。特に、工事区間において施工の期間を定められた箇所がある場合には、監督職員と事前に協議し工程を管理すること。
3. 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。

## 交通安全管理について

1. 作業時間については、所轄警察署の道路使用許可条件に従うこと。
2. 施工中の交通整理員は、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。なお、工事設計書に計上される交通誘導員の人工は交代要員を含む人工であり、実作業においては各誘導員の労働時間を考慮し適切に配置すること。
3. 交通規制は、周辺工事との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通（通行人を含む）等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。なお、細街路への迂回をやむなく行う場合、同迂回路に交通誘導員を配置し、通過車両がいたずらに速度を出しすぎないよう速度の低減措置等を図ること。
4. 施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。

## 補償・事故関係

1. 請負者は、工事中に事故が発生した場合は、直ちに所要の措置を講ずるとともに、事前に作成した緊急連絡方法により関係機関へ通報（連絡）し、事故発生の原因や経過、被害状況等について監督職員に速やかに報告すること。
2. 請負者は、工事において家屋その他の工作物等及び第三者車両に対して第三者に損害を与えた場合、請負者の責により措置を講じ、その影響が第三者の日常生活上または営業上に著しい支障が生じた際には相手方に補償すること。内容については速やかに監督職員に報告すること。
3. 請負者は、第三者に補償することになった場合、第三者に対しては連絡先を明確にし、補償が完了するまで誠意をもって対応すること。

## 環境対策について

1. 請負者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和62年3月30日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。
2. 工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、請負者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。
3. 請負者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示があればそれに従わなければならない。また、第三者からの環境問題に関する苦情に対しては、誠意をもってその対応にあたり、その交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を随時監督職員に報告し、指示があればそれに従うものとする。

## 建設副産物について

### 1. 共通事項

- 1) 国土交通省策定「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。  
また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画ならびに再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

### ◎作成対象工事

「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

2) 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し確認を受けること。

3) 建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの（受渡確認票等）を提出すること。

## 2. 建設発生土

### 1) 指定 ~~(A)~~ (工事間流用) の場合

本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間流用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。

ア 搬出先（相手先工事名、場所等）                      工事                      市                      町 地先

イ 土質及び処理量 第 種建設発生土                      m<sup>3</sup>

ウ 搬出時期    年    月 ～    年    月

なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。

### 2) 指定 (A) (その他) の場合

建設発生土は、千葉県柏市岩井地先、片道運搬距離 19.1 kmの(株)エスブロックに搬出するものとする。

### 3) 指定 ~~(B)~~ の場合

建設発生土は、片道運搬距離    kmに搬出するものとする。

## 3. 路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材は、千葉県柏市風早地先、片道運搬距離 13.9km の東京石油興業(株)中間処理センターに運搬し、処理するものとする。

#### 4. 建設廃棄物

本工事により発生する

1) アスコン塊は、千葉県柏市風早地先、片道運搬距離 13.9km の東京石油興業(株)中間処理センターに運搬し、処理するものとする。

2) コンクリート塊は、千葉県柏市風早地先、片道運搬距離 13.9km の東京石油興業(株)中間処理センターに運搬し、処理するものとする。

3) ~~建設発生木材~~は、市 地先、片道運搬距離 km の に運搬し、処理するものとする。

4) 建設汚泥は、千葉県八千代市吉橋地先、片道運搬距離 21.0 km の千葉丸辰道路(株)八千代工場に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。  
工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

#### 建設リサイクル法について

##### 1. 特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置

1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づく対象建設工事であり、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

2) 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条の規定により、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、その書面は、「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」を用いて作成した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書によることができる。

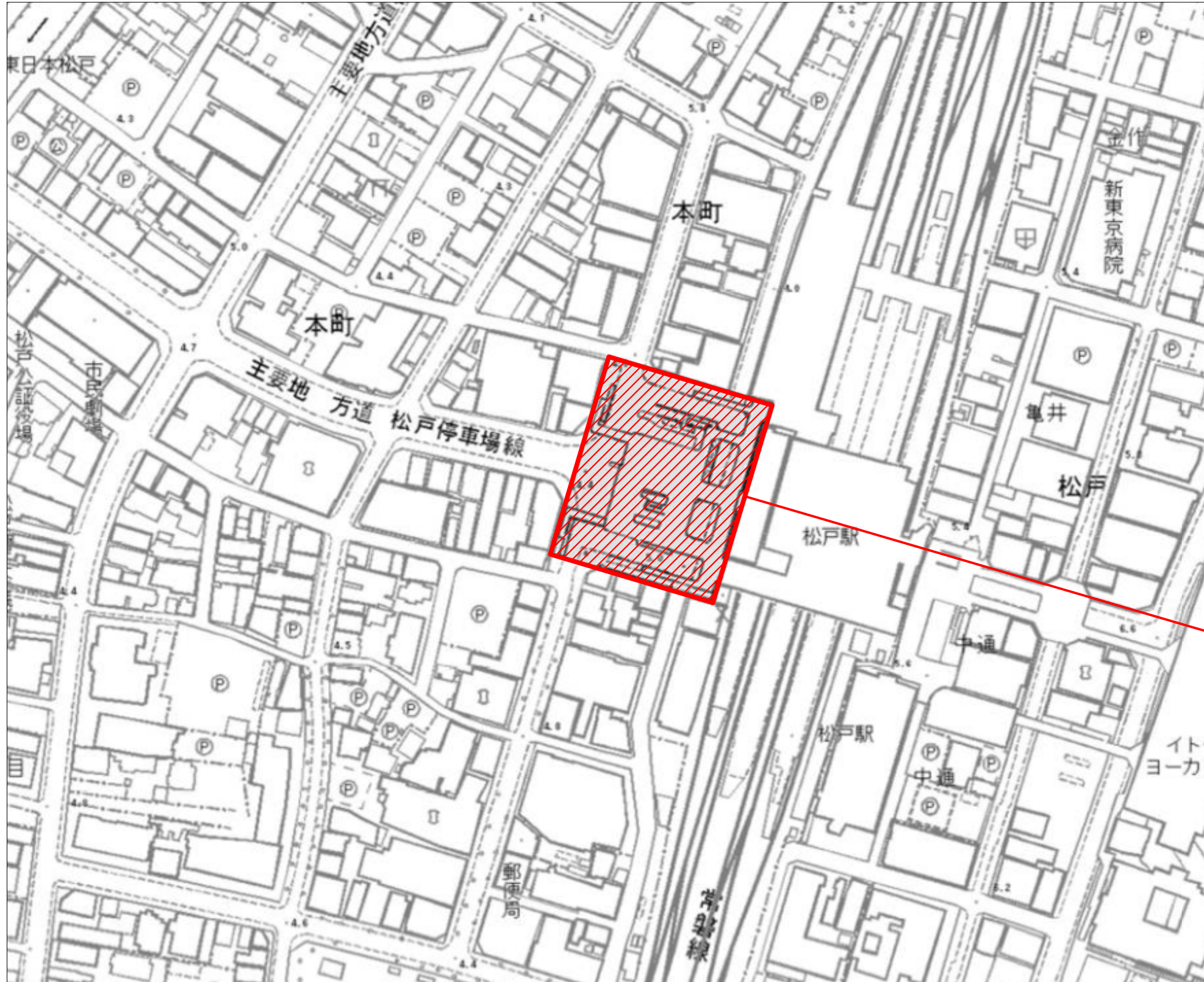
##### 2. 請け負おうとする建設業を営む者からの事前説明に関する事項

1) 建設リサイクル法第12条の規定により、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対し、『「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）の施行に伴う公共工事の取扱い』で定める「法第12条第1項に基づく書面」を交付し説明を行うこととする。

2) 書面の交付は、契約に先立って行うこととする。

<b>土工</b>
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 撤去するインターロッキングブロック及び特殊ブロックについては、一部を再利用し再設置するものとする。再利用するブロックの種類については、事前に監督職員の指示を受けること。</li><li>2. 床掘りの際には、予期せぬ地下構造物・地下埋設物の出現に備え慎重に作業を行うこと。</li></ol>
<b>附帯工</b>
<ol style="list-style-type: none"><li>1. タクシープール側の乗り場の上屋・案内看板等の撤去については、柱の基礎部も含めて撤去を行うこと。また、当該上屋に、地下を通して繋がっている電線については、上屋の撤去と併せて、地下からの立ち上がり部を歩道の適切な位置に移設し固定すること。</li><li>2. 障がい者用タクシー乗り場の上屋・案内看板等の撤去については、柱を地際部にて切断し、切断面については危険がないように適切に処置を行うこと。また、当該上屋に繋がっている引き込み線については、撤去を行うこと。</li></ol>
<b>舗装工</b>
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 舗装構成は設計図書による。</li><li>2. やむを得ず路盤または基層にて交通開放する場合は、事前に監督職員と協議すること。また、路盤もしくは基層にて開放する場合は、第三者に危険のないよう段差のすりつけ措置を講ずること。</li><li>3. 舗装復旧は、解放後段差や凹凸など通行に危険のない様に行わなければならない。</li><li>4. 瑕疵による場合は引き渡し後であっても改善を求めることがある。</li><li>5. 舗装の縦横断勾配については、平坦性を十分に考慮し計画すること。</li><li>6. 計画した高さは、監督職員の承認を得ることとし、請負者はその高さに基づき管理しなければならない。</li></ol>
<b>その他</b>
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 工事内容および施工範囲の詳細については、監督職員と現場立会等を実施した上で、確認すること。</li><li>2. 当該工事については、土工作业を行う前に、タクシープールの移設を行う必要がある。そのため、施工の順序としては、まず、新設タクシー乗り場に関する標識及び仮区画線の設置、現況タクシー乗り場に関する区画線の消去を行うこと。</li><li>3. 表層完了後には、速やかに路面標示の復旧を行うこと。</li></ol>

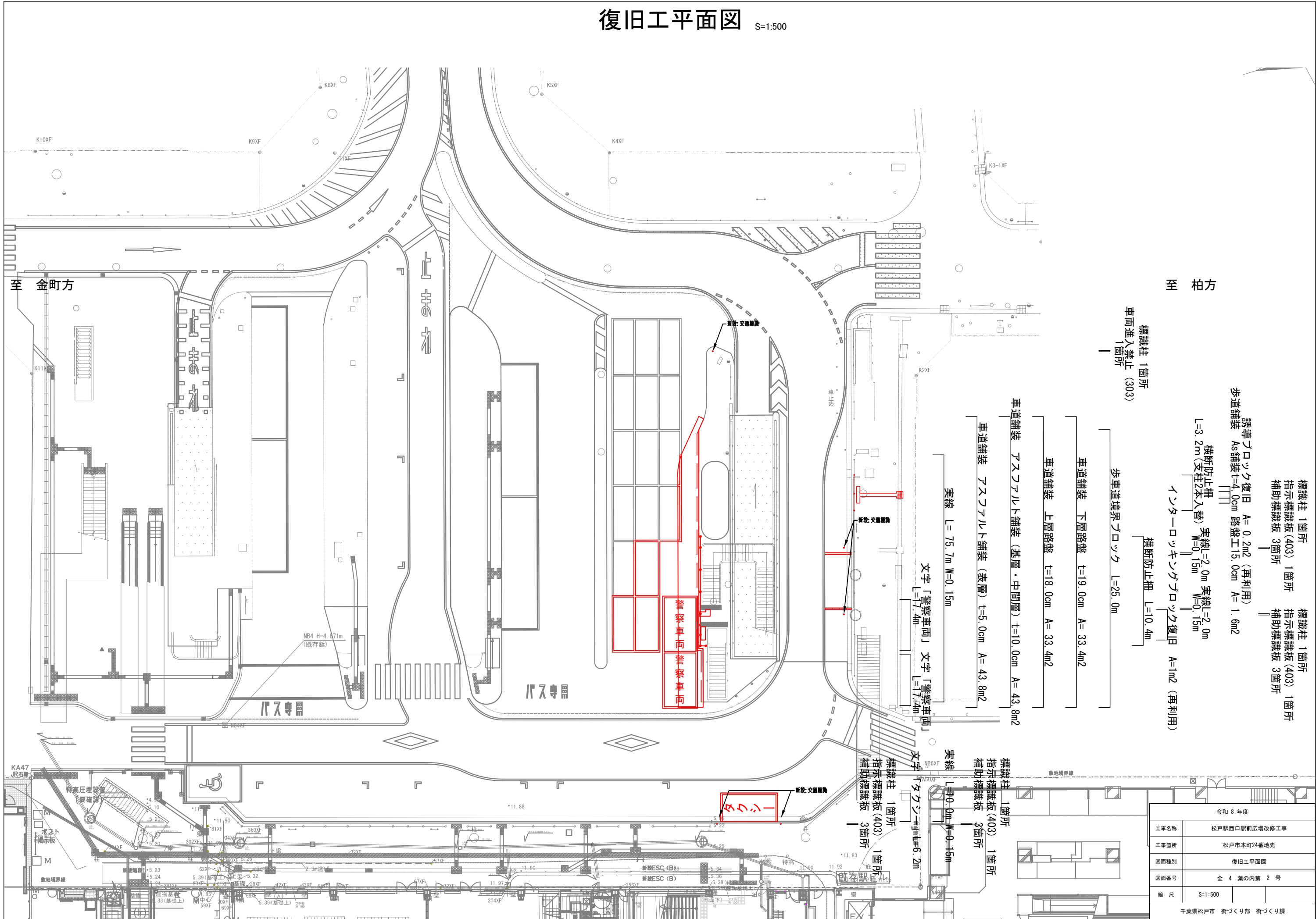
# 案内図



松戸駅西口駅前広場改修工事  
工事範囲

令和 8 年度	
工事名称	松戸駅西口駅前広場改修工事
工事箇所	松戸市本町24番地先
図面種別	案内図
図面番号	全 4 葉の内第 1 号
縮尺	Free
千葉県松戸市 街づくり部 街づくり課	

# 復旧工平面図 S=1:500



標識柱 1箇所  
車両進入禁止 (303)  
1箇所

誘導ブロック復旧 A=0.2m<sup>2</sup> (再利用)  
歩道舗装 As舗装t=4.0cm 路盤工15.0cm A=1.6m<sup>2</sup>

横断防止柵 実線L=2.0m 実線L=2.0m  
L=3.2m (支柱2本入替) W=0.15m W=0.15m

インターロックシグナルブロック復旧 A=1m<sup>2</sup> (再利用)  
横断防止柵 L=10.4m

歩車道境界ブロック L=25.0m

車道舗装 下層路盤 t=19.0cm A=33.4m<sup>2</sup>

車道舗装 上層路盤 t=18.0cm A=33.4m<sup>2</sup>

車道舗装 アスファルト舗装 (基層・中間層) t=10.0cm A=43.8m<sup>2</sup>

車道舗装 アスファルト舗装 (表層) t=5.0cm A=43.8m<sup>2</sup>

実線 L=75.7m W=0.15m

文字「警察車両」 文字 L=17.4m

標識柱 1箇所  
指示標識板(403) 1箇所  
補助標識板 3箇所

標識柱 1箇所  
指示標識板(403) 1箇所  
補助標識板 3箇所

文字「タクシー」 文字 L=6.2m

実線 L=10.0m W=0.15m

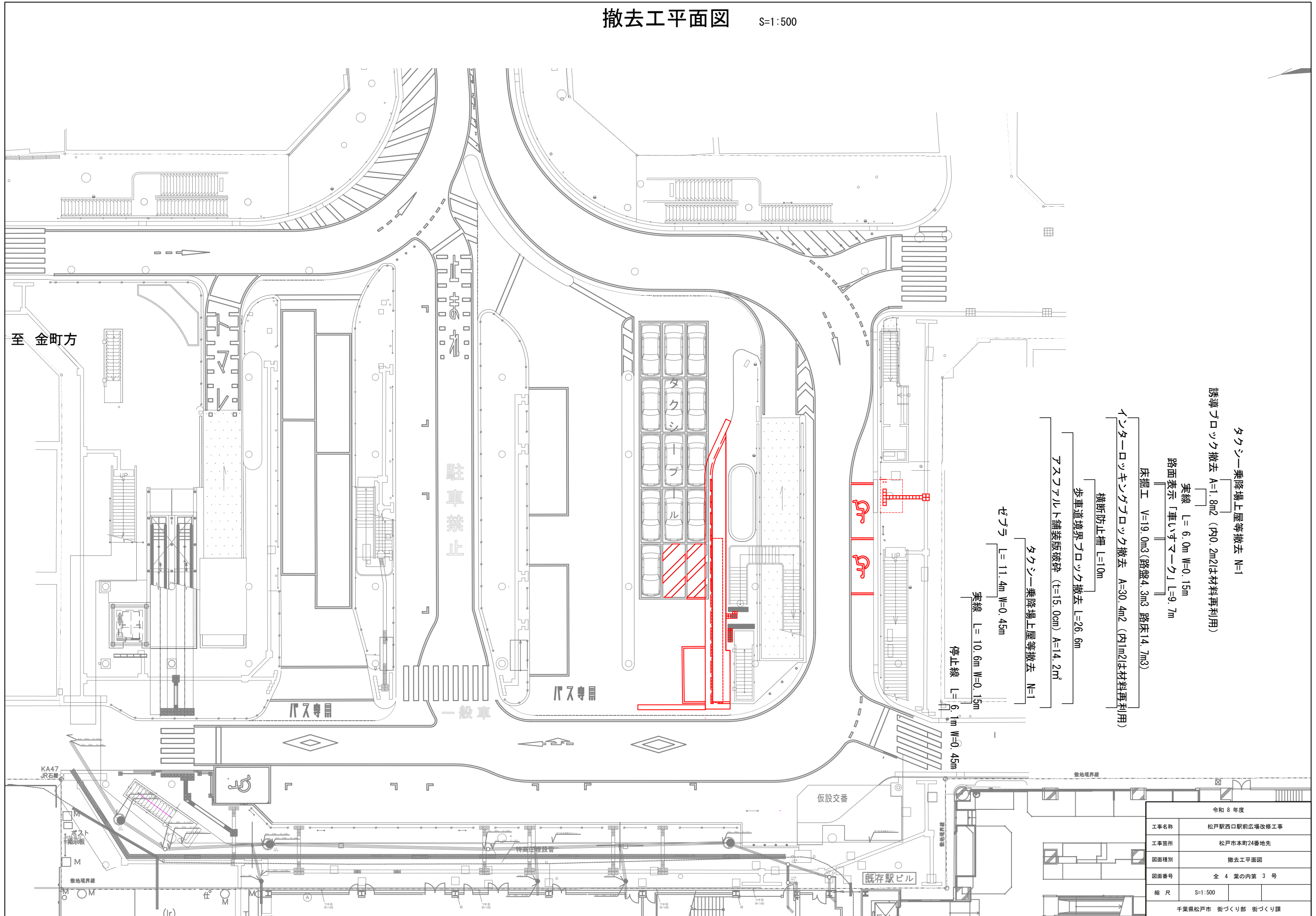
標識柱 1箇所  
指示標識板(403) 1箇所  
補助標識板 3箇所

標識柱 1箇所  
指示標識板(403) 1箇所  
補助標識板 3箇所

令和8年度	
工事名称	松戸駅西口駅前広場改修工事
工事箇所	松戸市本町24番地先
図面種別	復旧工平面図
図面番号	全4葉の内第2号
縮尺	S=1:500
千葉県松戸市 街づくり部 街づくり課	

# 撤去工平面図

S=1:500



タクシー乗降場上屋等撤去 N=1  
誘導ブロック撤去 A=1.8m<sup>2</sup> (内0.2m<sup>2</sup>は材料再利用)

実線 L=6.0m W=0.15m  
路面表示「車いすマーク」L=9.7m

床掘工 V=19.0m<sup>3</sup>(路盤4.3m<sup>3</sup> 路床14.7m<sup>3</sup>)

インターネットボックス撤去 A=30.4m<sup>2</sup> (内1m<sup>2</sup>は材料再利用)  
横断防止柵 L=10m

歩車道境界ブロック撤去 L=26.6m  
アスファルト舗装版破砕 (t=15.0cm) A=14.2m<sup>2</sup>

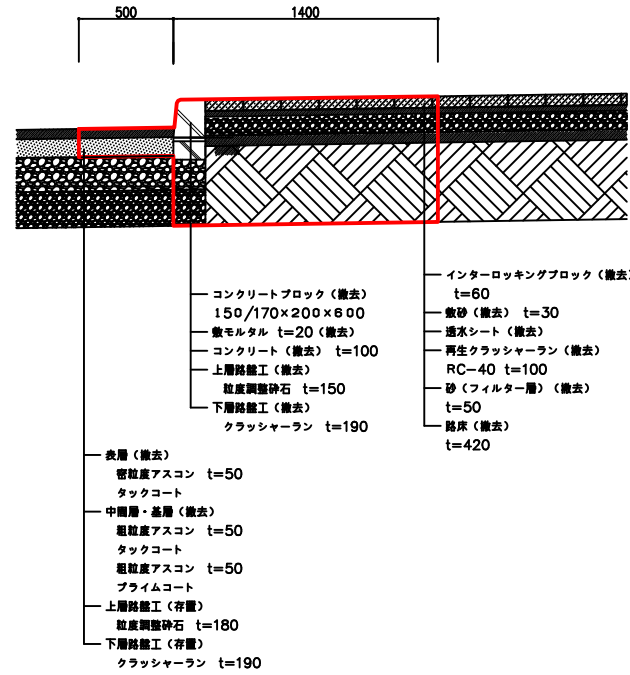
タクシー乗降場上屋等撤去 N=1  
ゼブラ L=11.4m W=0.45m  
実線 L=10.6m W=0.15m

停止線 L=6.1m W=0.45m

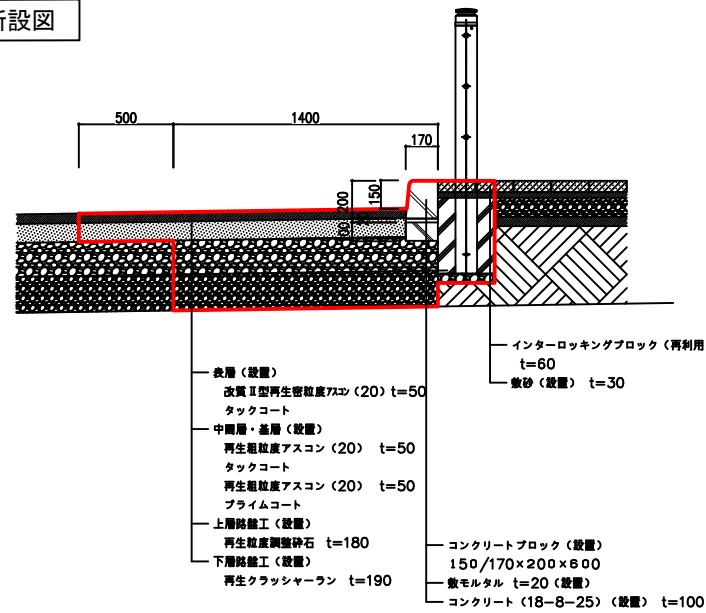
令和 8 年度	
工事名称	松戸駅西口駅前広場改修工事
工事箇所	松戸市本町24番地先
図面種別	撤去工平面図
図面番号	全 4 葉の内第 3 号
縮尺	S=1:500
千葉県松戸市 街づくり部 街づくり課	

車道拡幅標準断面図 S=1:20

撤去図



新設図

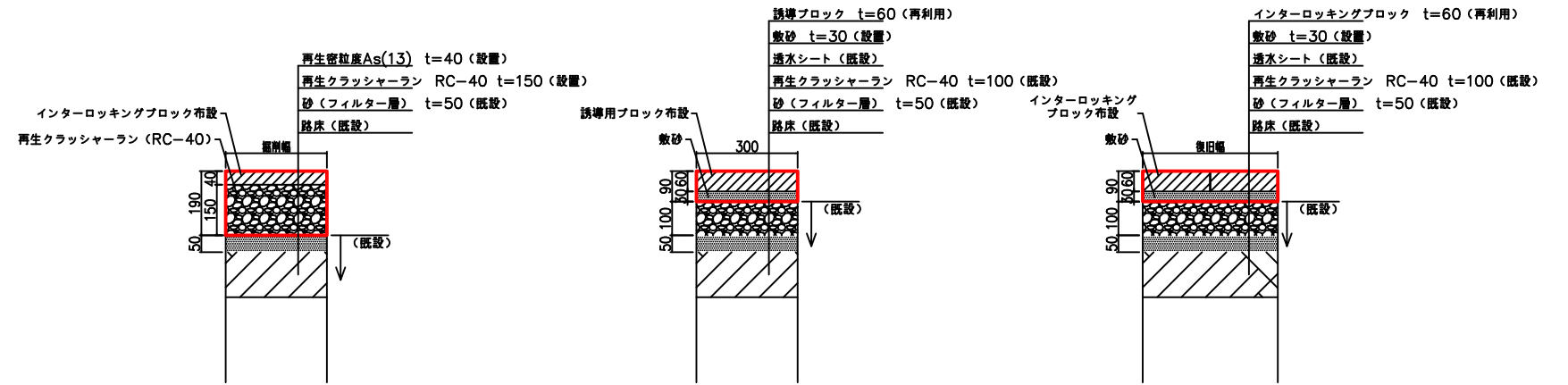


歩道復旧部 詳細図 S=1:10

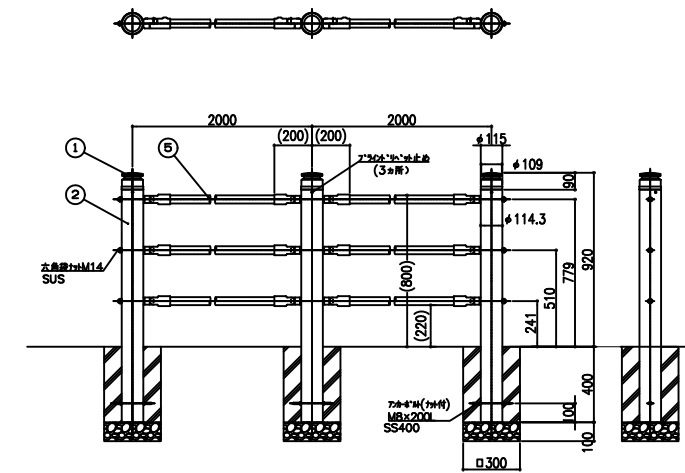
歩道復旧部 (As舗装) S=1:10

誘導ブロック復旧部 S=1:10

インターロッキングブロック復旧部 S=1:10



横断防止柵詳細図 S=1:20



番号	品名	材質	備考
1	ヘッド	アルミ合金鋳物 AC4A	ショットプラスト後、焼付塗装
2	支柱	鋼管 STK400	φ114.3×t4.5
3	ジョイントボス	アルミ合金ダイカスト ADC12	φ52×73L 焼付塗装
4	ビームジョイント	アルミ合金ダイカスト ADC12	φ52×107.5L 焼付塗装
5	横パイプ	鋼管 STK400	φ42.7×t2.3 亜鉛メッキ鋼管、焼付塗装

色番号	色	日建工No
030	ブラウン	日建工 E19-208 既製色

令和 8 年度	
工事名称	松戸駅西口駅前広場改修工事
工事箇所	松戸市本町24番地先
図面種別	詳細図
図面番号	全 4 葉の内第 4 号
縮尺	図示
千葉県松戸市 街づくり部 街づくり課	

